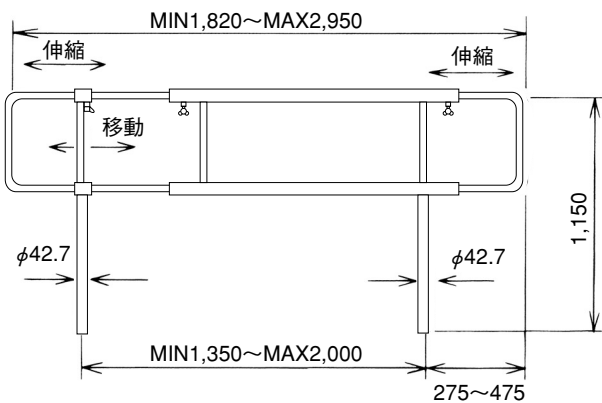


ラージテッスル

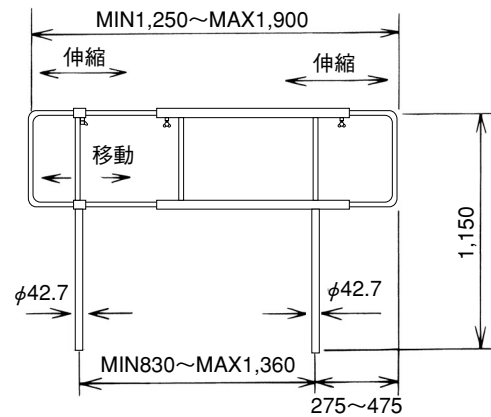
特長

- 1) 開口部分墮落・転落防止として、軽量かつ伸縮構造なことから取付け、取外しが簡単である。
- 2) 単管、クランプ、専用工具等を必要としない。
- 3) サヤ管に生コンが入るのを防ぐために、従来はガムテープ・ビニール・発砲スチロール等で養生していたが、専用のブーツにより生コンの浸入を防ぎ、本体を外さなくても打設できる。
- 4) 手摺、柱がスライド式のため、サヤ管のピッチが決めていたピッチより左右にずれても支障なく取付けができる。

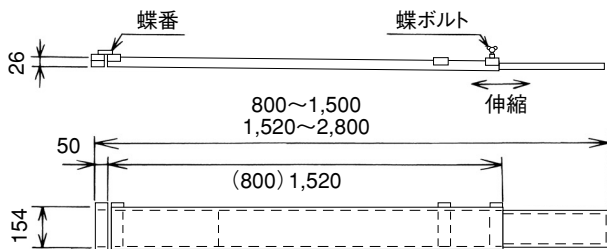
ラージテッスル1型 L-T1*...13.0kg



ラージテッスル2型 L-T2*...11.0kg



巾木 L-TH*



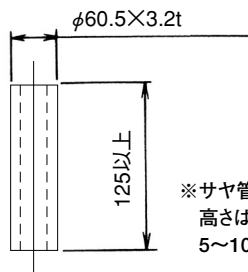
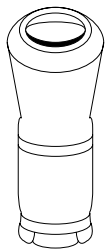
●伸縮幅

- I型 / 1,520~2,800mm 自重8kg
- II型 / 800~1,500mm 自重5kg

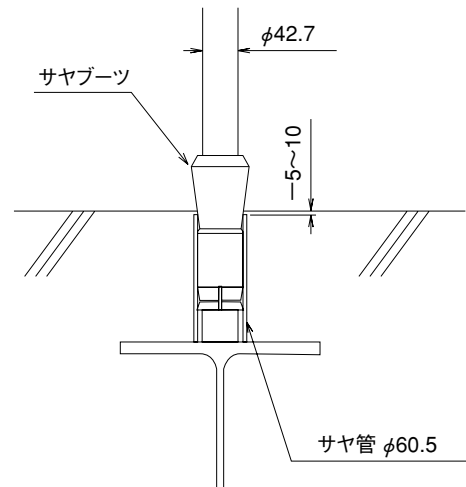
サヤブーツ LT-SAYAB (合成樹脂)

サヤ管 LT-SAYAKAN

ラージテッスル用養生ブーツ

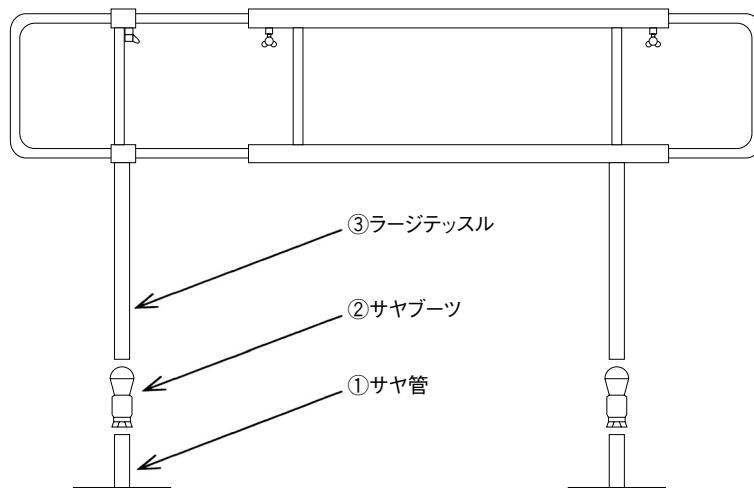


※サヤ管はφ60.5×3.2tを使用し、高さは各スラブ厚よりマイナス5~10mmとする。

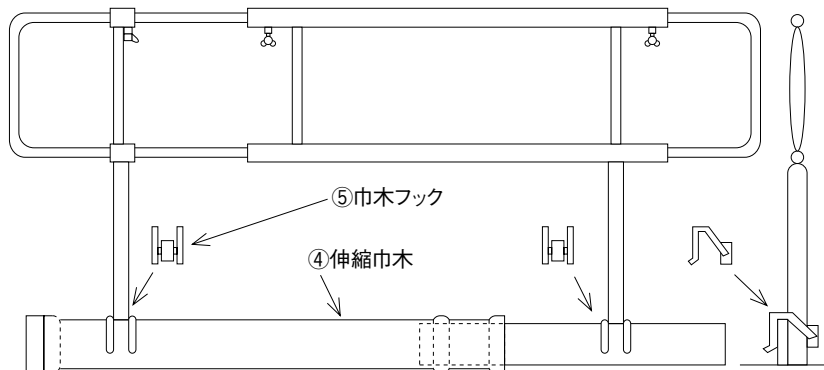


ガムテープ等の養生の必要がなく、コンクリート打設後の手摺撤去の際、スムーズに抜ける。また、後処理も簡単にできる。

取付要領

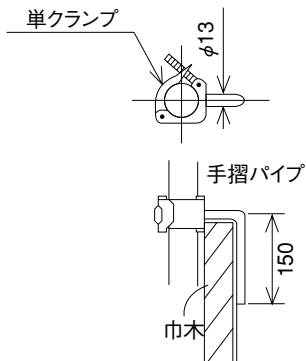


- ① サヤ管を溶接します。
- ② サヤ管にサヤブーツを入れます。
- ③ ラージテッスルの脚をサヤ管に差し込み、力強く最後まで押し込んで下さい。

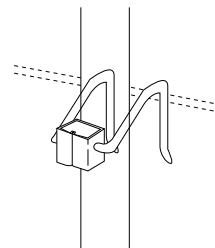


- ④ 伸縮巾木をラージテッスルの脚によせます。
- ⑤ 巾木フック又は巾木クランプで巾木を挟み固定して完了です。

●巾木クランプ



●巾木フック



注意事項

- 1) 支柱間隔は2m以下で使用して下さい。
- 2) 安全帯のロープ、親綱、控え、壁つなぎ、足場板などの支持点又は、資材荷上げの吊り元に使用しないで下さい。
- 3) 材料などを立てかけないで下さい。
- 4) 上栈又は下栈を踏み栈がわりに使用しないで下さい。
- 5) コンクリート打設前にサヤブーツとサヤ管に隙間がないかもう一度チェックしてからコンクリート打設して下さい。

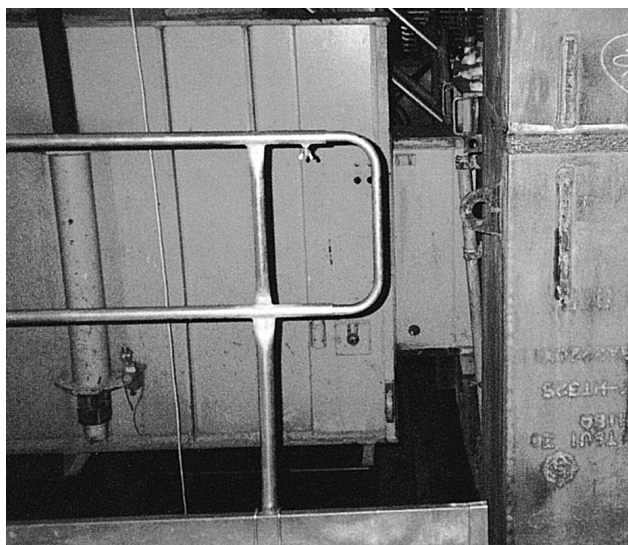
使用例



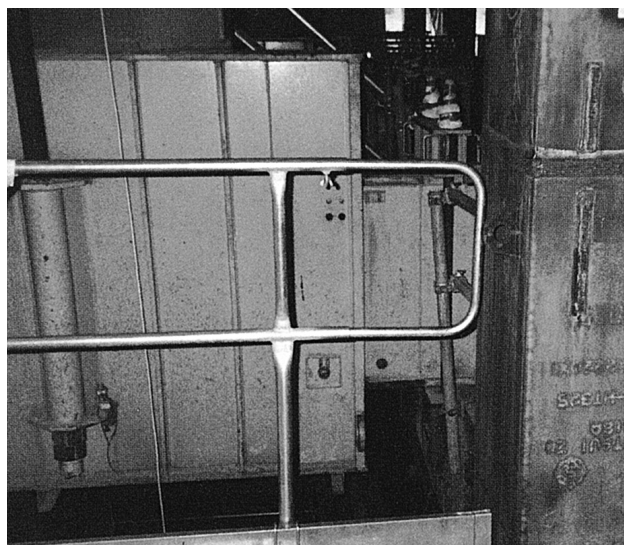
コンクリート打設前



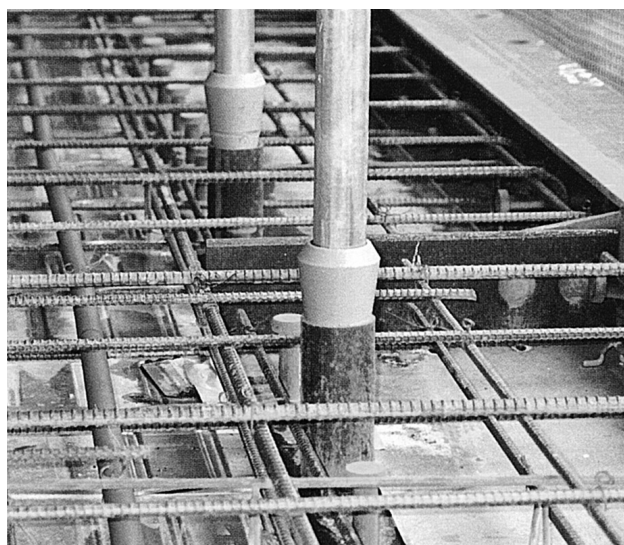
コンクリート打設後(巾木付)



柱周りに作業スペースを作る①



柱周りに作業スペースを作る②



サヤブーツ (サヤ管φ60.5×3.2t)